

第2回 西区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	平成27年度11月25日(水) 午後1時30分から午後3時00分まで
会場	西区役所健康センター棟1階 大会議室
出席者	<p>西区自治協議会委員 出席19名</p> <p>教育委員 齋藤教育委員、伊藤教育委員</p> <p>事務局 教育総務課長、地域教育推進課長、学校支援課課長補佐、坂井輪 地区公民館長、坂井輪図書館長、西区教育支援センター所長</p>
議 事	<p>1 開会</p> <p>2 担当教育委員挨拶 伊藤教育委員</p> <p>3 出席者紹介 (教育委員、事務局)</p> <p>4 「全国学力・学習状況調査新潟市の結果について」 事務局説明 学校支援課長補佐</p> <p>5 質疑</p> <p>自治協委員</p> <p>小学校における算数A・B、中学校における数学A・Bのことについて、知識はいいのだけれど、活用する能力が劣っていること。これは自学、自習というよりは、この能力はまさに日常の学校授業の中でこそ頑張らなければならないと思う。</p> <p>2点目は理科について。教科書を見て学習をするような内容についての理科はいいのだけれど、実験をやらなければならないような内容については点数が悪いと。その辺りは、まさに学校現場が頑張っていかなければいけないところかと思う。</p> <p>教育委員会として、学校現場にどのような指導をしているか。</p> <p>教育委員会事務局</p> <p>まず1点目の数学・算数です。確かに活用して応用していくような取り組み、なぜそうなのかという解答を導き出すまでの、そういった思考を問うような働きかけの設定を、より重視してやっていかなければ身につかないだろうととらえております。中教研との連携など、授業の活用力を高めるための改善をさらに図っていきたいと思っております。</p> <p>理科については、これは一体どこに原因があるのかといったときに、特に中学の場合は、実験観察を主体的に、問題意識を持って取り組んでいたのかどうか。学習課題の設定を含めて、そののところに一つ弱さがあるのではないかということ。子どもたちの問題意識をしっかりと持たせた上で観察実験をやる。そしてその結果何が分かったのかという考</p>

察を含めたまとめを、きちっと授業の中で位置づけてやる。ここをやはり肝にしながらか授業改善を図っていく必要があるととらえて、後半の方の指導につなげていきたいと思っております。

自治協委員

「1日当たりどれくらいテレビゲーム、携帯ゲームやりますか」というこの数字は時間ですか。何を単位にしているのですか。

それともう一つ、先ほどいい数字だと。何がどういふ数字がいいことになるのか。

教育委員会事務局

それぞれの質問紙の数字は、当てはまる、どちらかといえば当てはまると子どもたちが回答するわけです。当てはまる、どちらかといえば当てはまると答えた生徒の全体の数に占める割合です。従って全国の割合から比べると西区の子どもたちは3割弱ぐらいということで、数値的に少しまだ低いので、いいのではないかととらえています。

自治協委員

そうすると、目標が全国平均になる。それでいいのですか。全国平均を目標にして、良い、悪いという判断をしていいのですか。本当は目標は0でしょう。そういうことを教育委員会の立場で、これでいいということ自体理解できない。

教育委員会事務局

決してそういったところをよしとしているわけではありません。目指すところはゲームやメディアなどのこういう時間を減じて、放課後の活動や読書など、そういった使い方を含めて、きちっと自制できる、コントロールできるような子どもたちにしていきたいと思っております。そういう方向で進めていきたいと思います。

自治協委員

宿題はよくやっているという結果だが、しかし予習・復習が半分以下になっている。これについて学校現場に対して、どのような指導をされているのか。

自治協委員

学校の授業時間以外に一日当たり1時間以上勉強をしているかという中で、学習塾などの部分も入っていると、学習塾で行っているから1時間以上やっているが、家庭では予習・復習などはできませんということにとらえればいいのか。

教育委員会事務局

まず1点目であります、家庭学習の時間が、特に予習・復習の部分であります、私たちとしてはこれをやはり授業と連動させてつなげていくということが一番大事なのかと思っています。

それから中学校の方の家庭学習。特に家庭学習の中でも予習・復習の時間が少なくなるという部分についてでありますけど、質問項目は塾との時間とは切り離したものでございます。

いずれにしても、家庭学習をどう充実させていくかという部分については、授業の質を上げていくのと同様に、これからも私たち充実できるような形の働きかけをしていきたいと思っております。

6 第1回教育ミーティング質問への回答について

司会

9月の第1回教育ミーティングでのご質問・ご意見で、後日回答いたしますとしておりましたものが2点ございました。

まず1点目ですが、ひまわりクラブの利用時間についてです。現在午後6時半までとなっているが、共稼ぎ世帯の状況や利用目的から考えると、保育園と同様に午後7時までとするのが適当ではないか。利用時間について市は検討しているのかという趣旨のご質問でございました。担当のこども未来課に確認したところ、「こども・子育て支援ニーズ調査」、平成25年の11月に実施いたしましたものでございますが、こちらの結果をもとに、放課後児童クラブ検討部会で議論いただいている。部会では児童の健全育成の観点から、家庭生活もとても大切であることや、保護者の全てのニーズを満たすことが、子どもにとって必ずしも良いことといえないなどの意見があり、開所時間は変更しないことを確認しています。との回答をいただいております。

次に2点目ですが、このような教育ミーティングの場ではひまわりクラブの話もあるので、担当課であるこども未来課からも出席してほしいというご意見でございました。こちらにつきましては、検討させていただきましたが、教育ミーティングは自治協議会委員の皆さまと教育委員との懇談を行なうものであるため、現行のとおり出席は教育委員会のみとさせていただきますと思っております。

7 意見交換

司会

次に本日の教育ミーティングのテーマ「西区の学・社・民の教育の取り組みについて」意見交換を行います。

自治協委員

学・社・民の取り組みで重要なことは、学校からの、とりわけ地域教育コーディネーターからの呼びかけが非常に重要ではないか。

人材を集めるため「黒崎南応援団」を組織して、たよりを月1回発行している。地域教育コーディネーターが非常に大活躍している。住民の一人として、今後も支援していきたい。

自治協委員

地域教育コーディネーターの方がいろいろと発信してくださり、私も授業のボランティアに積極的に参加している。コーディネーターの方からの声かけで学校へ行くようになって、学校が身近に感じられ、先生方の顔も分かるようになった。とても今は充実してボランティアに参加させてもらっている。

自治協委員

新通小学校区内に坂井輪地域学という集まりがある。依頼があり、学校の子どもたちの工作室に私どもの有志が5回行った。手作りの飛行機づくりなどを教えている。先日の最終回に、子どもたちから感謝状をいただいた。

学校も、地域や公民館など様々な趣味を活かした活動に呼びかけて欲しい。

自治協委員

西区では年に4回、5回ぐらい西区地域教育コーディネーターの情報交換会を行っている。コーディネーター同士でも学び合っており、いい団体の紹介とか公民館の使い方とか、だんだん浸透してくるのではないかと思っている。

自治協委員

小針地区においては、コーディネーターと学校は連携プレーが非常にいい。児童安全体験という避難訓練をやっている。1年間に3回ほど実施して、定着性ができたなと思っている。私もコミ協役員と学校の担当及びそういう責任者と、非常に連絡を密にしている。

教育委員会事務局

地域教育コーディネーターの方が、広く地域に情報を発信している。それを地域の方がキャッチしてくださって、学校に来てくださっている。学校に来てくださった地域の方がとてもうれしかった、楽しかったと言って帰っていただいている。こういう好循環が起きてきているということ

は、事業が大変うまく進んでいることなのだなと思うのです。

データを見ると、例えば学力向上につながっているとか、社会性の育成につながっているとか、児童の自己肯定感が育まれているとか。この数値を見ると、特に西区はグンと上っているということなのです。これだけ充実した地域の方々とのかかわりができているということが、このデータから言えるのではないかと考えています。

自治協委員

地域の人が学校に協力し続けるためには、やはりボランティアで学校へ行った人が、行ってきてよかった、子どもたちも喜んでくれたし、自分もやりがいがあった、という気持ちを大事にしなければならない。

ボランティア活動が長く続くためには、形だけでなくいろいろな心の面で、学校が本当に心からありがたいという気持ちを示し続けてほしい。

自治協委員

自分は農家ではないけれど、自分なりに一生懸命勉強して、ボランティアとして子どもたちにキュウリやナスの植え方を教えて、大変喜んでいただき感謝状まで頂いた。

教育委員

普段、地域の学校でボランティア活動に参加しています。先日、コーディネーターさんの部屋に待機していたら、校長先生がありがとうございますと声をかけてくれまして、みんなですごく感動しました。

ボランティアというのは自己責任と自己満足だというのが私の信念で、子どもたちや学校の求めていることをお届けするというのが自己責任だと思います。自己満足というのは、自分が満足するということが大切だと思うことからです。自分自身がやっていることに満足し、子どもたちから元気をもらうのが大事かなと思っています。

教育委員会事務局

たくさんの方から小学校にボランティアとして参加していただいて、地域を愛する子どもたちに関わっていただいています。そうすることによって、今度は中学校になると、地域貢献を考えるようになっていって、そしてこの地域のためにこんなことだったらできるねということを取り組んでいる学校が多くなってきています。例えば地域防災についても参加していると、僕たちの立場だったらこんなことで地域の役に立てるね。こういうことが子どもの口から出てくるようになるのです。これは時間をかけてこの事業が進んでいった成果なのかなと思っています。

ボランティアの方も、ご経験のないものであっても、学校で一緒に学んでいこうという学びの場として活用していただければと思います。

教育委員

西区の中学校区ミーティングに参加すると、学校と地域のつながりが本当にいい形で進んでおり、その連携の強さに感謝しています。

今日伺ったコーディネーターの方が年4回も5回も集まって情報交換をしている。そういったものが少しずつ実を結んできて、いい形で学校と地域がつながってきているのではないかと考えています。

自治協委員

当地区ではふれあいスクールが12年目を迎えた。ふれあいスクールを経験した子どもたちが中学生になり、高校生になり、大学生になって、スタッフとして戻って来てくれる。自分が育てた子がスタッフとして戻ってくることは凄い喜びであり、地域と学校の関係が上手くいっていると思う。

司会

次に学・社・民の民の部分である地域や家庭、企業などができることは何か。それと合わせて、社の部分である、公民館や図書館などができることは何か。そのためにはどうすればよいか。こちらについて意見を頂戴したいと思います。

自治協委員

冒頭に学校の呼びかけが非常に大切だと申し上げたが、実際民の立場から見て、学校には発信しづらい。学校から民の方へ向かっていくのが、最善の策ではないかと思う。

自治協委員

公民館事業の「コミュニティコーディネーター育成事業」に参加している。3年経過し、100人程が卒業した。

このコミュニティコーディネーターが、地域で利用されないというのは非常に悲しいと思っている。

坂井輪地区公民館長

公民館ではコミュニティコーディネーターの養成ということで「地域デザイン講座」という講座で、4年前から地域の課題発見と人材育成に取り組んでおります。

今、4年間の取り組みをまとめた冊子を作成しています。地域の課題発掘や、意見集約の手法、人材育成の手法などを地域活動の参考にいただければと思っております。

自治協委員

「地域と学校パートナーシップ事業」は児童生徒の学力向上につながっているというアンケート結果から、西区は「そう思う」が突出している。これは学力と関係性があるのか。

自治協部会長あいさつ

本日は、西区における学・社・民融合の教育の取り組みについて、より深く話し合うというテーマで皆さまにたくさんご審議いただきました。活発に意見がたくさん出て、時間ぎりぎりまでお話が及んで、とてもよかったのではないかと思います。私自身もいろいろなところで地域の一員として子どもにかかわっていますが、やはり子どもたちを育てる、子どもは地域の宝だということを、やはり大人が宝を触って磨かなければ、宝は光らないというも思っています。